

2020年度 東京支部活動方針

SG委員会

委員長・副支部長 伏石 知子

SGとはスタディグループの略で、日本FP協会が公認するFP有志が開催する勉強会の事を言います。SGの良い点は勉強会に参加すると資格更新に必要な単位申請が出来るという点です。勉強会で色々な知識を得ることが出来FPの仲間と出会い、交流する事が出来ます。また仲間を募って新しいSGを立ち上げたい方への設立支援活動も行っております。

1. 支部会員へのSG制度の認知と普及活動について

東京支部には今年の3月31日現在で60SGがあり、支部会員は約4万6千人余りいらっしゃいますが、SG参加者は延べ2千人余りとなっております。

- ・SG体験イベントと称した実際のSG勉強会を体験していただくイベントの企画と運営。
- ・年4回の支部研修会において、壇上にてSGの魅力やPRするとともに休憩時間にブースを出して、希望に沿ったSGの探し方を伝授。
- ・その他の会員交流会や研修会などにブースを出して、SG制度の普及をPR。

2. 既SG担当者等に対する支援活動について

- ・SG交流会・SG会議(昨年度はワイガヤ会議)を企画と運営して各SG担当者の声を直接聞いたり、各SG同士が交流できるようにします。
- ・上記会議等に参加してもらえないSGに関しては、SG訪問としてこちらから出向いてSG担当者の声を聞きに行きます。新設SGには早めにSG訪問をして、意見交換をします。

3. 今後のSG活動やSG制度について時代に合うように検討をしていきます。

フォーラム委員会

委員長・副支部長 永田 登一

フォーラム委員会は、年間複数回開催の「地域FPフォーラム※」運営・実施を担っています。「地域FPフォーラム」には下記の開催目的があり、各フォーラムを開催目的に沿ったよう運営・統括しています。

<東京支部フォーラム開催目的>

1. 地域への認知度アップ・社会貢献「ファイナンシャル・プランナー」の認知度を高めるとともに、地域社会・住民に対して社会貢献すること
2. ファイナンシャル・プランナーの役割定着化 地域住民に「ファイナンシャル・プランナー」は総合的な資産設計を行う専門家であること、いわば「家計のホームドクター」であることをご理解いただくこと
3. 会員への体験機会の提供、ネットワークづくり 東京支部会員にFP業務体験の機会を提供することにより、FPとしてのスキルアップを促すとともに、地域のFPのネットワークを強化することを通じて、FPビジネスの展望をつかんでいただくこと
4. 支部活動への参加 東京支部主催の行事に参画することにより、東京支部会員に支部活動をより身近に感じていただくこと

※地域FPフォーラムとは：東京支部の主催する、地域の一般生活者向けの主にセミナー＆体験相談会を中心としたイベントです。協力員(相談員・講師)の募集はフォーラムごとに東京支部配信メールを通じて東京支部会員の中から募集しています。協力員に採用された方向けには相談員研修(初めての方のみ)およびロールプレイング研修を行いますので、相談実務経験のない方でも安心してご参加いただけます。

今年度もさらなるフォーラムの発展と満足度向上を目指すとともにフォーラムの運営・開催に関し随時、改良と見直しを行うことで、フォーラムのご来場者・協力員(支部会員)の双方にとってより充実したフォーラムとなるよう活動していきます。

今年度も地域FPフォーラムへのご協力をよろしくお願いいたします。

研修委員会

委員長・副支部長 勝倉 秀一

研修委員会は、継続教育研修のうち多人数参加による集合型の研修会を行います。
「旬のテーマを、旬の講師で」を研修会の基本方針として、企画運営を進めます。

年4回、日経ホール等大規模会場において開催する支部継続教育研修会は、多くの方が参加できる継続教育研修会として、週末に開催し、幅広い会員の皆様の知識や情報の向上の役に立つ内容と講師選定を心がけ、課目も偏りがないように企画します。
また、支部研修会時には他の委員会が活動のPRや休憩時間に説明・相談などを行い、支部活動を知っていただく機会にもなります。

一方、他団体との共同、もしくは協力を得て行う研修会では、より専門性の強い、実務に関連の強いテーマや講師により、実践的な内容を強く打ち出し、FP実務に就かれている方々にも役に立つ研修を目指します。

支部研修会は集合型の継続教育研修の中ではもっとも参加のハードルが低く、間口も広がっています。一方、FP向けの情報が含まれるように講師に依頼して、一般向けのセミナーとは一味違った内容を目指し、FPになられたばかりの方から、実務経験豊富な方まで多くの方に満足いただける研修会となるように企画・運営してまいります。

会員交流委員会

委員長・副支部長 土屋 繁一

本委員会は東京支部会員間の交流活発化を目的として2012年度に会員交流プロジェクトとして発足し、2018年度には会員交流委員会として名称を変更して、活動の幅を広げてきました。
2020年度も、さらなる会員間の交流拡大に向けて、次の方針にて継続して活動していきます。

1. ウェルカムFP研修会の開催(1回)

FP資格を取得された新会員を対象とした研修会で、今年度で13年目となります。
経験豊富なFPによる実践的な情報提供や各委員会より支部活動の紹介しながら気軽に支部活動へ参加いただける様、一層の交流活発化を目標に内容の充実を図ります。

2. ネットワーク作りのための会員交流会の開催(3回程度)

東京支部会員の皆様にとってのネットワーク作り支援のための交流会を開催しています。
今年度も会員の皆様の参加しやすい環境として、開催地域、平日(昼・夜)開催・休日開催等を企画し、多くの会員の皆さまのお役に立てる様な交流会を実施いたします。

新規企画委員会

委員長・副支部長 坂田 卓也

新規企画委員会のドメイン(生存領域)は2つあります。
1つは一般消費者に向けた視点、もう1つは行政や他団体に向けた視点です。

1つ目は、
誰に: 一般の消費者に向けて
何を: 「家計のホームドクター®」としてのファイナンシャルプランニングの有用性を
どうやって: 行政や他団体との共催セミナーや相談等のイベントを行うことで認知度を高める。

2つ目は
誰に: 行政や他団体に向けて
何を: ファイナンシャル・プランナーとの協同による相互効果(集客効果やコンテンツの拡がり)を
どうやって: イベントの企画や共催を行うことで存在価値を高める。

また、上記のドメインで活動をしていく中で、他の委員会との繋がりを強化し、東京支部としての一気通貫性を高めて

- ① 東京支部の各委員会との連携強化、② 支部会員の支部活動の活性化および活躍の場の提供を目指します。

スキルアップ委員会

委員長・副支部長 中野 克彦

会員の実務的なスキルアップを図るため、昨年度は今までの「講師ロープレ研修、「相談ロープレ研修」に加え、「執筆・コラム研修」をスタートしました。これで、FPの3大スキルともいえる研修のラインナップとなりました。

2020年度は、さらなる研修内容の充実を図っていきます。

1.スキルアップ研修の質の向上

FPが学ぶ6課目の知識を有効活用していくためには、それらを伝える「講師・相談・執筆」のスキルが欠かせません。

会員のスキルの向上のため、さらなる努力をしております。研修の主軸は、ノウハウだけではなく、ロールプレイングです。実際に体験し、経験を積むことがスキル習得の早道だと考えています。よりスキル向上につながるよう、研修内容に磨きをかけていきます。

2.スキルアップ研修の継続的開催

スキルを身に着けるには、そのトレーニングが欠かせません。「講師・相談・執筆」それぞれの研修では、事例やテーマを変えていくことで、バリエーションに富んだロールプレイングを体験できます。本研修の継続とともに、繰り返し参加できるコンテンツ作りに工夫を凝らしていきます。

FPのスキルアップのため、その一助となれるような活動を行っていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

メルマガ委員会

委員長・副支部長 甲斐 洋子

メルマガ委員会は、毎月末発行のメールマガジンで東京支部の活動をお知らせするとともに、FP活動に役立つ情報とWEB内での情報入手先の提供、会員の声の掲載などを行っています。2001年12月の創刊以来毎月欠かさず発行し、2020年3月で220号に達しました。これからも支部活動と会員の皆様を繋ぐ架け橋として、さらに役立つ情報源となるよう工夫を重ねていきます。

活動内容と今年度の目標

1、毎月末、定例メールマガジンを発行

- ・各委員会の活動の報告・レポートを、分かりやすく読みやすくまとめる
- ・支部HP「くらしとお金」のリンク集から辿れるタイムリーな情報の提供
- ・支部会員の参考になるメールマガジンとして、絶えず見直しをしていく
- ・新企画の立案、各委員会や支部HPとの連携強化などで発信力を強化する

2. 東京支部ホームページの「くらしとお金」のリンク集の管理

- ・リンク先を定期的にチェックし、URLの変更や移動などに対応する
- ・時流に合った情報を入手できるよう、重要度により入れ替えを行う

総務委員会

委員長・副支部長 坂本 綾子

総務チームは、支部活動と予算管理についての円滑な運営と推進を図ります。

1. 諸イベント、各委員会、およびチームにおける支部活動の総合調整と効率化
2. 幹事会、委員会および会合等の調整・議事録作成
3. 公正・効率的な予算管理
4. 支部マニュアルおよび諸規定の整備